

自分の意見を持ち、積極的に意見交流し合える児童の育成

—「話し合いカード」や「意見マップ」を活用した話し合いの工夫を通して—

特別活動班 細谷直樹（小学校教諭）

こんな話し合いになっていませんか？

課題②

積極的に発言していないなあ

課題①

自分の考えを持っていないなあ

課題③

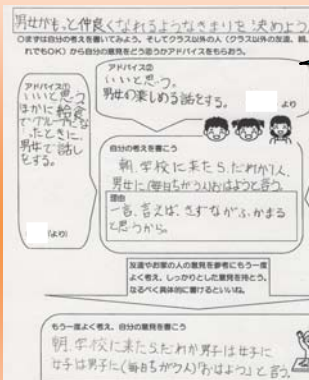
話し合いに参加していない子がいるなあ



この3つの課題を3ステップで解決！

課題①には

ステップ① 自分の意見をもつ場面



話し合いカードの活用

- ①自分の意見を持つ
- ②アドバイスをもらう
- ③もう一度考える
- ④新たな自分の意見をもつ

〇〇をすれば、男女が仲良くなれると思うから、〇〇をみんなですていけばよいと思う。

根拠を明確にして話し合いに参加できる



アドバイスをもらったら、考えがはっきりして、意見が言いやすくなったよ。

課題②には

ステップ② 意見交流する場面

意見マップ

縦軸と横軸を2観点として、意見を位置付けることで、よりよい意見を視覚的にとらえることができる



観点①
議題のねらいについて

観点② 意見の実行性について

意見マップの活用

班での活動の場合

- ①付せん紙に書いた自分の意見を貼る
- ②それぞれの意見について質問する
- ③2観点に沿って意見を位置付ける
- ④どの意見がよいかを決定する

〇〇の意見より、〇〇の意見の方が、より男女がなかよくなれるし、みんなも実行しやすいから〇〇の意見の方がよいと思います。

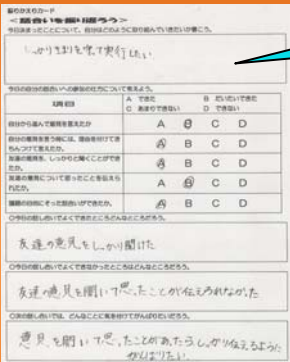
- ・話し合いの視点を焦点化できる
- ・意見を比較・検討しやすく、集団決定しやすい



意見マップを使ったら、意見を比較しやすくて、進んで意見を言うことができたよ。

課題③には

ステップ③ ぶいかえる場面



自己評価カードの活用

- ①決定したことについて、意思表示をする
- ②話し合いへの参加態度を自己評価する
- ③次の話し合いへ向けて目標を設定する

今日の話し合いでは、きちんと理由を言えなかったの、次回はいっしょに話したい。

次の話し合いへの意欲が高まる



自分の取組を振り返ったら、課題に気づけて、次にかんがいたいことがはっきりしたよ。

充実した話し合いに自分も参加できてよかったな。
次もまた、みんなで話合って、いろいろなことを決めたいな。

- 成果**
- 一人一人が積極的に発言をしながら集団決定することができたので、実践意欲も高まった。
 - 話し合いを三つの場面に分け、それぞれの場面で、手立てを講じたことで、児童を効果的に変容させることができた。
- 課題**
- 意見マップを効果的に利用するためには、継続的に活用し、使い方に慣れていく必要がある。